# 投稿 規定

- 1 Bamboo Journal への投稿内容は竹類に関する調査、研究など、広義に人々が竹を理解し、竹類の研究・推進に役立ち、併せて竹文化・竹産業の新興・発展に寄与するものとする。
- 2 本誌で発表される研究報告などは未発表のものに限る。
- 3 ①原稿の種類は、総説、論文、研究報告、研究ノート、短報、研究資料、研究・国内外情報など とする。
  - ②原稿の種類は、編集委員会が決める。
- 4 原稿は別に定める執筆要領に基づき執筆されたものとする。
- 5 原稿は編集委員会が定める専門家(複数名)によって査読・校閲され、その結果に基づき、掲載の可否が決定されるものとする。
- 6 カラー印刷を希望される場合、著者がその実費負担するものとする。また総説、論文、研究報告、研究ノート、短報、研究資料などの別刷を希望される場合、その著者がその実費を負担するものとする。
- 7 原稿は電子データでオンライン投稿し、同時にそのプリントアウトした原稿(1 部)と本誌最終ページに印刷の「投稿連絡表」をコピーして必要事項を記入し、次の本誌編集委員会宛に提出しなければならない。

〒606-8343 京都市左京区岡崎戌勝寺町9-1

京都市勧業館みやこめっせ内

文化振興協会事務局 Bamboo Journal 編集委員会

TEL. (075) 761-3600 FAX. (075) 761-3464

E-mail: j-bamboo@ mbox.kyoto-inet.or.jp

## 執筆要領

Bamboo Journal の原稿は、次の要領により執筆することとする。

1 原稿の形式

[総説・論文・研究報告・研究資料・研究ノート・短報]

- ①第1枚目の原稿には、和文表題、著者勤務先、著者名、欧文表題、著者名、勤務先の順に、各々行を改めて書く。
- ②本文は一般研究誌に準じ、摘要、序文、研究方法、結果、考察のように構成することを原則とする。摘要に続いて5語以内のkey wordsを挿入する。挿入される表、図、写真などは別紙にキャプションとともにまとめ、本文中に含めない。
- ③欧文要旨(Abstract)及び図表に欧文キャプションを加える。また、Abstract に対応して図表のキャプションを欧文のみにすることも可とする。
- ④本文中における文献の引用明示については、本文中に著者名に引用文献番号を上付数字で示し、 引用文献はアルファベット順に整理して示すこととする。
  - ⑤引用文献について、単行本の場合は著者名(発刊年「西暦」):著書名、全ページ数、発行機関の

順とし、論文等の場合は著者名(発表年「西暦」):表題、誌名、巻、号、引用ページ数とする。

⑥表、図、写真は本文の右欄外に挿入位置を朱書きし、それぞれ1枚ごとに分け、通し番号によって明示する。

#### [研究·国内外際情報]

- ①本文の構成については特に規定しないが、読者が理解しやすい構成とする。
- ②第1枚目の原稿、引用文献などは論文、研究報告などに準ずる。

### [論文抄録・新刊紹介など]

- ①和文論文の場合は、表題、著者名、発表誌名、ページ数、発表年(西暦)の順に紹介し、続いて紹介文・抄録文を記す。最後に、紹介・抄録者の勤務先と誌名を() 内に記述する。
- ②欧文論文の場合は、訳文した和文表題、( )内に原書表題、著者名、発表誌名、巻、号、ページ数、発表年(西暦)の順に紹介し、続いて和文の場合と同様に記述する。
- 2 すべての原稿は、原則として刷り上がり10ページを超えてはならない。
- 3 和文原稿では新カナづかい、学術用語以外は当用漢字を用いる。動物・植物の和名、外来語はカタカナとし、外国の地名や人名などはその言語を用いてもよい。

### 4 原稿の作成

①本文 すべてパーソナルコンピューター (PC)で作成したものとし、A4 版、縦置き、横書き、上下左右のマージンを 25mm とする。本文は全角 40 字× 40 行程度でプリントアウトしたものとする。

②表 大きさは原則として刷り上がり 1 ページを限度とする。縦罫線はできるだけ省略する。PC 表計算ソフトを用いた表では、そのソフトによる電子データも提出する。ただし、表が電子画像(jpg ファイル等)として提出された場合、画像として取り扱われることに注意しなければならない。

③図 原則として電子画像とし、キャプションはその画像に含めず、別紙に図番号とともに明記するものとする。また、画像はモノクローム印刷されることから、カラーで作成した場合、その目的が反映されない場合が多いことと、原図に文字・数字を挿入した場合、原図の縮小によりフォントの大きさも同調して変化することから、その点を十分留意する必要がある。

④写真 電子画像 (jpg など) ファイルとするもモノクローム印刷を標準とする。また、紙焼き写真の場合も可とするが、1 枚ごとにはぎ取りやすい程度に台紙に貼り、写真番号とキャプションを明記するものとする。なお、カラー印刷を希望する場合、著者がその実費を負担するものとする。

#### 5 その他

執筆についての問い合わせ先

文化振興協会事務局 Bamboo Journal 編集委員会

TEL. (075) 761-3600 FAX. (075) 761-3464

E-mail: j-bamboo@ mbox.kyoto-inet.or.jp

Home page URL http://web.kyoto-inet.or.jp/people/j-bamboo/